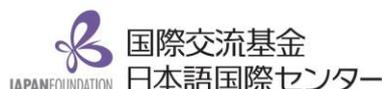


## 文字の教え方

### Unit 1 準備 Part 1 生活の中の文字



#### 1. はじめに

私たちは、毎日の生活の中でどのように文字を使っているでしょうか。日本語ではどのように文字を使っているでしょうか。また、文字を使うためにはどんな能力が必要でしょうか。そして、文字学習の目的はどのように考えたらいいでしょうか。

このパートのキーワード

読む・書く テキスト 手書き<sup>てが</sup> キーボード入力<sup>にゅうりよく</sup>

#### 2. 生活の中の文字

このコースでは、文字学習の目的は、生活の中で文字を使った活動ができるようになることだと考えています。

私たちは、毎日、母語でも外国語でもたくさんの文字を使っています。生活の中で文字を使う活動を考えてみましょう。いつ、どんな目的で、どのように文字を使っているでしょうか。

【タスク 1】生活の中で文字を使う活動の例を挙げてみましょう。

町で看板を見る。

私たちは毎日の生活の中で、文字を使って情報を手に入れたり、発信したりしています。

では、文字を使う活動を整理しましょう。文字を使う活動には「読む」と「書く」があります。

文字が書いてあるものを「テキスト」と言います。テキストには、①主に読むだけのテキストと②読んだり、書いたりするテキストがあります。

【タスク 2】①と②のテキストの例を挙げてみましょう。

①主に読むだけのテキスト	②読んだり、書いたりするテキスト
看板、	メモ、

文字の学習では、学習者がどんなテキストを読んだり書いたりするのか、つまり文字を使う目的や場面を考える必要があります。

また、文字を使う活動、「読む」「書く」にはいくつかの方法があります。

【タスク 3】文字を「読む」方法と、「書く」方法を 2 つずつ挙げてみましょう。

文字を読む	文字を書く
①	①
②	②

最近、文字を紙で読んだり、手で書いたりする機会が少なくなってきました。文字を教えるときには、学習者がどんな目的や場面で、またどんな方法で文字を使うのかを考えて教える必要があります。

### 3. 日本語の文字を使う活動

まず、日本語ではどんな文字を使っているかを確認しましょう。

【タスク 4】①～③のテキストは、それぞれどんな文字を使っていますか。文字の使い方にどん

な特徴とくちようがあるか表にまとめてみましょう。

	①日本の駅の看板	②レストランのメニュー	③新聞
テキスト			
文字の使い方			

このように日本語ではいろいろな文字を使っていて、使い方も複雑<sup>ふくざつ</sup>です。それぞれの文字の特徴と使い方については Part2 で説明しますが、日本語の学習ではこのようにいろいろな文字とその使い方を身につける必要があります。

では、日本語の文字を使う活動について、考えてみましょう。

【タスク 5】日本旅行中、次の①～⑤の場面ではどんな文字が必要でしょうか。それぞれどんな文字を使いそうか、イメージしてみましょう。

- ① イベントのポスターやチラシを見る。
- ② レストランのメニューを見て、料理を選<sup>えら</sup>ぶ。
- ③ 地図アプリで目的地への行き方を調べる。
- ④ 日本人の友だちに SNS で連絡をする。
- ⑤ 神社で絵馬に願<sup>えま</sup>い事<sup>ねがごと</sup>を書く。



【例】として「②レストランのメニューを見て、料理を選<sup>えら</sup>ぶ」という活動を見てみましょう。

最近は写真が載<sup>の</sup>っているメニューも多いですが、文字がわかると便利です。料理の名前や材料、作り方の説明が読めれば、自分が食べたい料理、食べられる料理を確実に選ぶことができます。

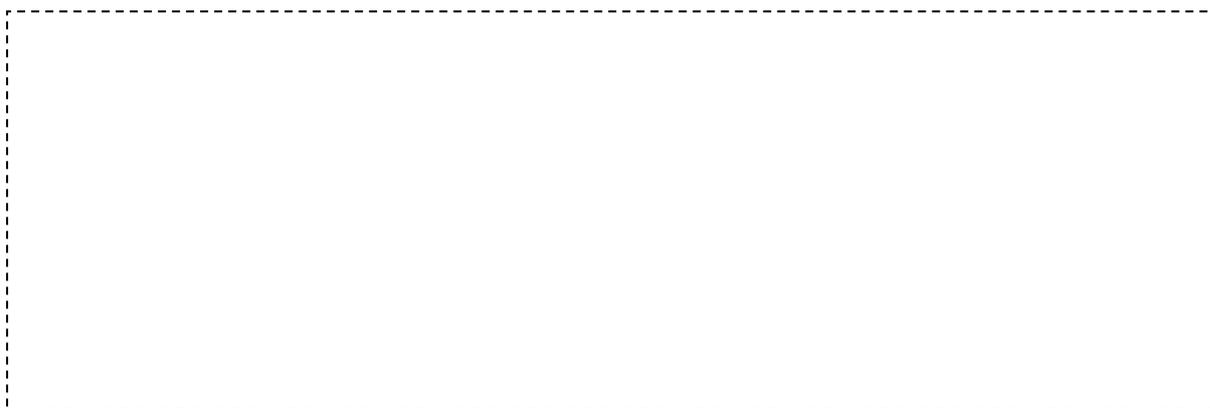
たとえば宗教<sup>しゅうきょう</sup>上の理由などで豚肉<sup>ぶたにく</sup>が食べられない人は、料理に豚肉が使われているかを確認する必要があります。そのときに

「豚」という漢字がわかれば、その料理<sup>さ</sup>を避けて注文することができますね。「豚」は難しい漢字ですが、そのような人にとってはとても重要な漢字

【例】②レストランのメニューを見て、料理を選ぶ。

です。この場合、漢字を書く必要はないので、見てわかる、意味がわかればいいということで、早い段階で教えるとよいでしょう。

【タスク 6】②の例を参考に、上の①③④⑤の活動の中から 1 つ選んで、どんな文字が必要か、どのように教えたらいいか具体的に考えてみましょう。



日本語の文字の学習では、学習者が実際にどのような場面で文字を使うのか、どんな文字が必要なのかを考えて教えることが大切です。

#### 4. 文字を使う活動と能力

文字を使う活動と能力について、JF 日本語教育スタンダードで見てください。

JF 日本語教育スタンダードは、日本語教育の目標設定や能力<sup>もくひょうせってい のうりよくひょう か</sup>評価を考えるために作られたツールです。図 2 を見てください。これは言語によるコミュニケーションの力を<sup>せいり</sup>整理した JF スタンダードの木です。

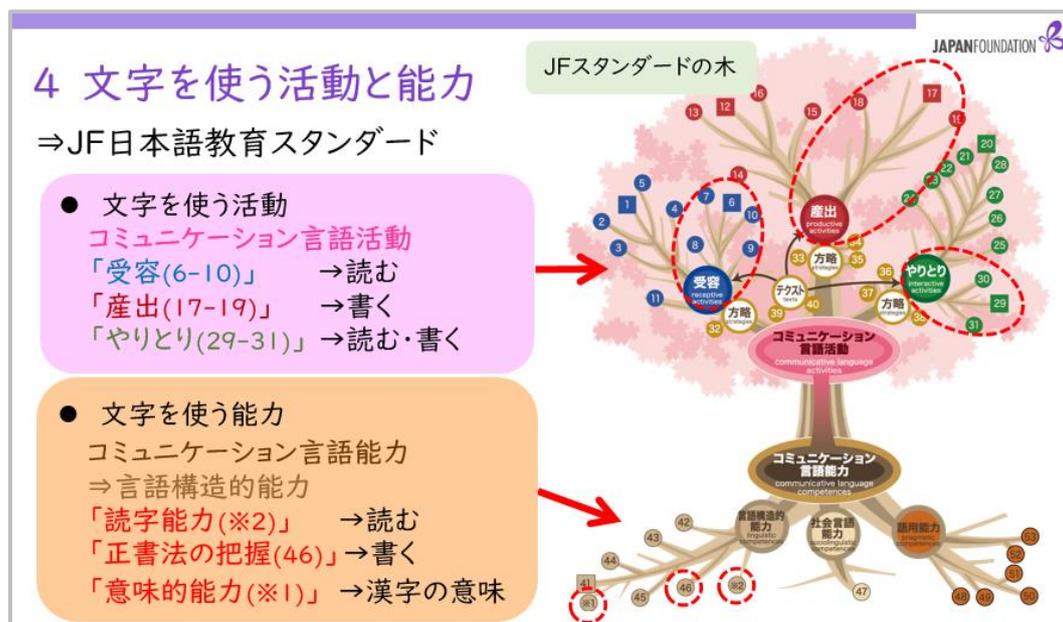


図 2 JF スタンダードの木と文字

文字を使う活動は、木の枝の部分「コミュニケーション言語活動」の中にあります。「受容」の中の「読む」、「産出」の中の「書く」、そして「やりとり」の中の「文書でのやりとり」に「読む」と「書く」が含まれます。これらの活動を行うためには、文字を使う能力が必要です。

文字を使う能力は、木の根の部分の「コミュニケーション言語能力」の中の「言語構造的な能力」に含まれます。文字を読むための「読字能力」と、文字を書くための「正書法の把握」、そして漢字の意味を把握する「意味的能力」があります。これらの能力を身につけることで、文字を使う活動ができるようになります。

文字学習の目的は、文字をたくさん覚えることではなく、実際のコミュニケーションで文字が使えるようになることです。

最後に、文字を使う活動のレベルを、JF 日本語教育スタンダードで見てください。

【タスク 6】各レベルでよく扱われるテキストとその特徴をまとめましょう。

レベル	テキストの例	特徴	漢字
A1			( )
A2			
B1			
B2			

## 5. まとめ

生活の中には、さまざまな文字を使う活動があります。そして、日本語ではいろいろな文字を使っています。文字を使う活動には「読む」と「書く」があり、そのための能力が必要です。文字を使ってどのような活動をするのか、文字学習の目的を考えて教えることが大切です。

### ■ このパートの参考文献と参考サイト

- 国際交流基金(2011)『文字・語彙を教える』(国際交流基金日本語教授法シリーズ 3)

ひつじ書房

- 「JF 日本語教育スタンダード」 <https://www.jfstandard.jp/go.jp>

## ■ タスクの答え

## 【タスク 1】

町で看板を見る。レストランでメニューを見る。スマホでネットの記事を見たり、SNS のメッセージを送ったりする。毎朝新聞を読む。会議でメモをとる。パソコンでレポートをまとめる。休みの日に本を読んだり、手紙を書いたりする。

## 【タスク 2】

①主に読むだけのテキスト	②読んだり、書いたりするテキスト
看板、ポスター、メニュー、パンフレット、 ネットの記事、新聞、雑誌、本など	メモ、カード、SNS のメッセージ、メール、 手紙、ブログ、レポート、論文など

## 【タスク 3】

文字を読む	文字を書く
①「紙で」読む ②「画面で」読む	①「手で」書く ②「キーボードで」入力する

## 【タスク 4】

	①日本の駅の看板	②レストランのメニュー	③新聞
文字	漢字とローマ字(アルファベット)	漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字、数字、記号など。 カタカナが多い、	漢字、ひらがな、カタカナが主に使われている。 <small>たてが</small> 縦書きで、漢字が多い。

## 【タスク 5】(答えなし)

## 【タスク 6】(答えなし)

## 【タスク 7】

レベル	テキストの例	特徴	漢字
A1	看板、メニュー、カードなど	単語、決まり文句 <small>もんく</small>	(少ない)  (多い)
A2	メモ、お知らせ、SNS など	短い文	
B1	ネットの記事、ブログなど	長い文、易しい文章 <small>やさ</small>	
B2	新聞、雑誌、レポートなど	難しい文章	